

# 一般会計

# 歳入総額 104億3,599万円

歳入歳出差引残高 8億1,254万円  
 繰越明許費 △7,398万円  
 実質収支額 7億3,856万円

※繰越明許費とは……年度内に終わることのできない支出を、次年度に繰り越す経費

## どこからお金が入ったの？

皆さまから納めていただく町民税、固定資産税、軽自動車税など

**55億 9,834万円** [自主財源]

国や県から割り当てられる補助金や交付金

**48億 3,765万円** [依存財源]

## 財政健全化判断比率

平成24年度	
実質赤字比率	—
連結実質赤字比率	—
実質公債費比率	14.0
将来負担比率	97.0

[用語解説] 「—」の表記は黒字であるため

- ◇実質赤字比率  
一般会計の赤字の割合（14%以下）
  - ◇連結実質赤字比率  
全ての会計の実質赤字の割合（19%以下）
  - ◇実質公債費比率  
借金返済額の割合（25%以下）
  - ◇将来負担比率  
将来負担すべき実質的な負債の割合（350%以下）
- ※（ ）内の基準を超えると財政上の制限が掛かる。

## 町税や使用料などの収納状況

項目	収入額	収納率（現年）
町民税	21億2,814万円	99.34%
固定資産税	15億746万円	99.02%
軽自動車税	5,262万円	98.80%
たばこ税	1億7,361万円	—
住宅使用料	1,038万円	97.44%
国民健康保険税	7億9,344万円	97.02%

## 各特別会計の決算状況

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	32億5,368万円	34億4,260万円
後期高齢者医療	2億5,919万円	2億5,838万円
介護保険(保険事業)	18億8,982万円	18億7,197万円
(介護サービス事業勘定)	976万円	972万円
下水道事業	10億5,715万円	10億5,715万円
墓地事業	4,577万円	3,124万円
学校給食	1億7,954万円	1億7,954万円
用地取得事業	3,600万円	3,600万円

会計名	収入	支出
水道事業(収益的収支)	8億6,118万円	7億8,641万円

## 賛成討論

歳入では、町税が前年より増収し、収納率も現年・滞納とも上昇しており納税推進に取り組んでいる。他の収入も事務事業に見合った額を確保している。歳出では、人件費の抑制ができ、事務費の徹底削減、高利な地方債繰上償還の実施等により、良好な財政健全化数値として現れている。

## 反対討論

収納率は99%だが、滞納の差し押さえなど過剰な取り立てがある。クリーンセンターは炭化物145万の売り上げをあげるのに1500万かかるし、修繕費も昨年より1400万多く毎年町政を圧迫する施設で二酸化炭素も町内の6割を排出している。

**採決結果** 賛成多数で認定



決算状況の詳細は  
 広報「こうりょう」10月15日号に  
 掲載されています。